

トーマス通信

2013

秋

号

vol.09



豊かな実りは自然の土壌から

トーマス通信キャラクター「トーマスくん」

世界の微生物界をリードする、アープ・トーマス・オルガ菌

僕は、バイオ・
グリーンの番犬
トーマスです。



自然環境農法の基本は

「健康」な「土づくり」から

障害
対策

障害の改善・軽減を図り作物の健全生育を促し、
高品質な農産物の
生産と多収量により

安定経営



【今月号の表紙】

平成25年7月7日 千本城ブルーベリー園にて

◆ブルーベリー狩りの皆さんに協力頂きました
当園は、栃木県芳賀郡茂木町地内：川上様御夫婦で約1ヘクタールに植栽し開園しました。
ご夫婦は大手家電メーカーに6年前まで勤務。
希望退職時に勇退し、研究を重ね、今では立派な500円玉大のブルーベリー園で評判です。



品種：チャンドラー（ハイブッシュ）

500円玉同等

子供達に、未来はあるのだろうか？

なる程です。



現代の私たちは、およそ7万種もの科学物質に囲まれて暮らしているといわれています。言うまでもなく、その中には多くの化学肥料や農薬も含まれています。ここ半世紀の間に日本の農業は化学の力により発達してきました。しかしながら長年化学的に合成された肥料・農薬を連用しつづけた結果、旬の風味や栄養価の乏しい農産物になっているようです。

また、残留農薬や硝酸態窒素含有の多いものは、健康をゆがめたり、安全性にも疑いをもたれるようになってしまいました。これら農産物の安全性を外見から判断することは難しい事です。このため次代を担うこどもたちや、病気で療養中の人までもが、このような農産物を毎日食べているとしたら、人間の健全な生長に影響を及ぼす心配は無いのでしょうか。私たち人間は、口から食物を摂取しエネルギー源としていることは昔も今もなんら変ってはいません。何世紀前からの伝統を重んじ、人間という生身の身体を健全に維持して行くには、化学の「力」にのみ依存していて良いのでしょうか？ 有機質や生態系など自然の摂理を重視し、化学に頼らない微生物活用により作物本来の栄養価の高い農産物が求められるのではないのでしょうか。



「自然環境農法」栽培のおさらい

自然環境農法の定義は



自然環境農法とは、有用微生物群であるトーマス菌(商品名:トーマスくん)と、自然界から排泄される動植物や魚粕類の優秀な有機質資源を有機的に組合わせ、トーマスくんの活動によって、土壌中の残渣類の分解を図り、共に高度な有機質土壌と、作物が健全に生育できる土壌構造(団粒構造化)の形成により、根の発達「特に毛細根」を促し、更には土壌環境(物理性・生物性・化学性)を整え、病虫害や連作障害等の軽減を図り、そして生態系による微生物群と作物の共生による助け合い作用や、作物の健全生育バランスを整える事により、硝酸態窒素含有が少なく日持ち良く栄養価の高い、誰が食しても「『えぐみ』感が少ない」美味しいと感じられる、健康で安全な農産物を栽培する農法です。

みんなこうなると、
子供もスクスク育つし
世の中よくなりますね。



健康で安全な農作物とは、

健全に生育した、栄養価の高いバランスのよい農作物です。

各作物の品種特性を最大限に引き出し、香り・形状・身粒子の締まり・色艶・糖度と酸味のバランス・日持ちの良さ・これらを総合して、どなたが食しても美味しいと感じられる全体的バランスの良い栄養価の高い作物である事は勿論であり、有機質肥料・農薬無使用により健全に育った物が一番良いことは、誰もが望んでいる事だと思います。



そのために、自然環境農法栽培では

健康な土づくりを基本とし行っております。

健康な土づくりは、身近な有機質資源を活用し、トーマスくんの働きにより分解し腐植体を増大させながら土中浄化や団粒構造化を形成、活力ある土壌に蘇らせる事により、大きな根を張り幾多の障害となる要因を軽減して、作物自身が健全生育できる環境をつくる事なのです。



茨城県小松菜園場



栃木県いちご園場



栃木県いちご園園場



栽培者：長野県上水内郡小川村地内 松坂様 《撮影：7月9日》

松坂様は農業を行うのは今年度からで《キュウリ・スイカ・アスパラ・枝豆》など栽培しています。特にキュウリに関しては土作りを早くから実施したり、技術的勉強も遠方まで足を運んで熱心に研究しての栽培でこうした努力がむくわれ今では、村内の直売所や近隣のペンションオーナーの方々から品質や美味しさなど一躍評判になり本人も嬉しいやらびっくりやら、当自然環境農法にベタ惚れしたとの事です。これからも頑張しましょう。



栽培者：岐阜県飛騨市古川地内 斉藤様



農業経験は未だ浅いのですが、何を作っても町一番の腕前、地区では度々表彰を頂いているそうです。これからも自然環境農法に挑戦して、いろいろな野菜や規模拡大も図って行きたいとの事です、頑張ってください。



栽培者：群馬県佐波郡 玉村町地内 宮澤様

トマト栽培が主力ですが、裏作にゴーヤを作付けしています。宮澤様自身が農業アレルギーのため、無農薬栽培を目指し、自然環境農法で挑戦しています。



25年 主な栽培状況 自然環境農法栽培

栽培者：長野県中野市地内

高橋様は8年前から自然環境農法でいろいろな作物を栽培（アスパラ・生姜・果樹）で特に果樹類にはトーマスくんやドットナルを散布して高品質栽培を行っております。写真はプラム【秋姫】ですが大きさも美味しさも凄いです。



自然環境農法の第一人者渡辺耕治さんの今年度の作柄、天候に恵まれ素晴らしいメロンです、立派に出来ました。



度 紹介コーナー

今年の4月～9月期間作



地内 高橋様 プラム園場



長野県飯山地内で見つけた珍しいナスです。【イタリアナス】だそうです。

滝沢社長さんの園場で発見、地元で経営しているレストラン「ことぶき村」で提供して、大変好評だそうです。

珍しいかたちをしたナスだワンね～



長野県飯山市地内



生姜栽培では北限と言われている地域ですが、生産組合【64名】を結成して4年目です。今年は降雨もほどよくあって順調な生育です。



9月9日の生育状態です。収穫まであと50日あり、十分な大きさになりそうで楽しみです。

もう少しで収穫！
待ち遠しいワン!!



皆さん、研修会に参加し熱心に勉強されております。

栽培者：岐阜県飛騨市神岡町地内 松村様



就農2年目です。愛妻と家族と一緒にハウス内で仕事したいとの思いから有機無農薬栽培を目指し、まわりの心配をよそに見事にやり遂げております。これからも頑張ります。





栽培者：茨城県笠間市 深作様

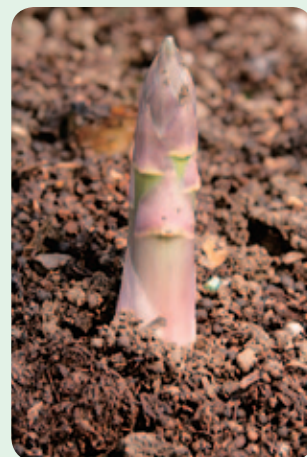


自然薯栽培を始めて9年目だそうです。健康志向には人一倍感心を抱き、自ずから安全で美味しい物を作りたいと思い栽培を始めたそうですが、今では自然薯作りの名人で通っております。インターネットでトーマス農園を検索下さい。



栽培者：栃木県宇都宮

トーマス通信ではお馴染みの方です。なっています、性格がそうなんです。



栽培者：茨城県鉾田地区 小橋様



食べたい
ワン!



この写真：幻のじゃがいもです。小橋様は根菜専門（じゃがいも・人参）の交互栽培です。多くの方に食して頂いておりますが、旨さは折紙付きです。これは小橋さんの人柄そのものを物語っております。これからも自然環境農法一直線で美味しい物を栽培し消費者に提供して行くそうです。



二人で何を語り合っているのかな？
飯山市の滝沢氏と服部氏です。

栽培者：栃木県真岡市 上野様



このナス栽培は見事でしょう。剪定技術は凄い物を持っている方です。当然品質・収量は、ずば抜けています。この写真の姿は最初から終わりまでいつ写してもおなじ姿なんです。



市篠井地区 阿久津様

すが、いつ見ても絵に
。頑張りましょう。



栽培者：栃木県上三川町地内 稲葉様

毎年10a当たり多収穫
部門で表彰されていま
す。(反収:7.5t以上)勿
論土づくりはトーマス
くんが品質面でも負けて
いません。



定植：3日前の苗状態です。



栽培者：茨城県鉾田市地内 石崎様

主に春メロンからアールスメロン・さつまいも栽培です。
石崎様は食べる方の身になって物事を考える人、安全な事は勿論、ど
れだけ美味しいと喜んでもらえるかを考えて栽培している方です
から、当然自然環境農法なんです。

栽培者：長野県飯山市木島平地内 渡辺様

渡辺さんは地元で物作りでは凄い実力者です。
何を作っても超一級品の野菜ばかりです。アス
パラガス・コンニャク・自家用野菜はほとんど
作っていますが、料理や漬物など、なんでも美味
しく作ってご馳走してくれますよ。どの作柄も半
端じゃありませんよ、**何を作っても名人**とはこの
ような方を言うんでしょうね。



何でもできるなんて
驚き！名人の技術、
見習いたいワン



「自然環境農法研究会会員様に事務局からのお知らせ」

お陰さまでトーマス通信も今発行で9号となりました。

この間、皆様には取材等に対しご協力を賜りながら紙面をかざらせて頂き、多くの方の共感を頂いてきましたが、更に皆様の身近な情報や、栽培状況、障害対策など知りたい情報を、お互いに交換しながら会員相互の発展につなげてゆければと考えます。更に、伝達方法なども今日の通信網を活用し、敏速に発信し合ってはどうかなどの提案もあり検討中で御座います。

そこで、会員の方には栽培状況など情報の提供をお願い致したく、是非応募して頂けます様おまち致しております。

応募要項

- 1、栽培の途中経過や成果等を5枚程度の写真にまとめて下さい。
- 2、それぞれの写真に、栽培経過などのコメントを付けて下さい。
- 3、尚、提供頂いた方並びに採用させて頂いた方にはお礼として「トーマスくん」又は、「海藻源肥」を進呈させて頂きます。

ご応募
お待ちしております



長野県松本市地内：原口様栽培の夏いちごです。撮影日：7月9日

NPO法人自然環境農法研究会

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753
TEL 028-902-1007 FAX 028-667-8915
ホームページ<http://www.biogreen.jp/npo/>

株式会社バイオ・グリーン

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753
TEL 028-667-1000 FAX 028-667-8915
ホームページ<http://www.biogreen.jp/>